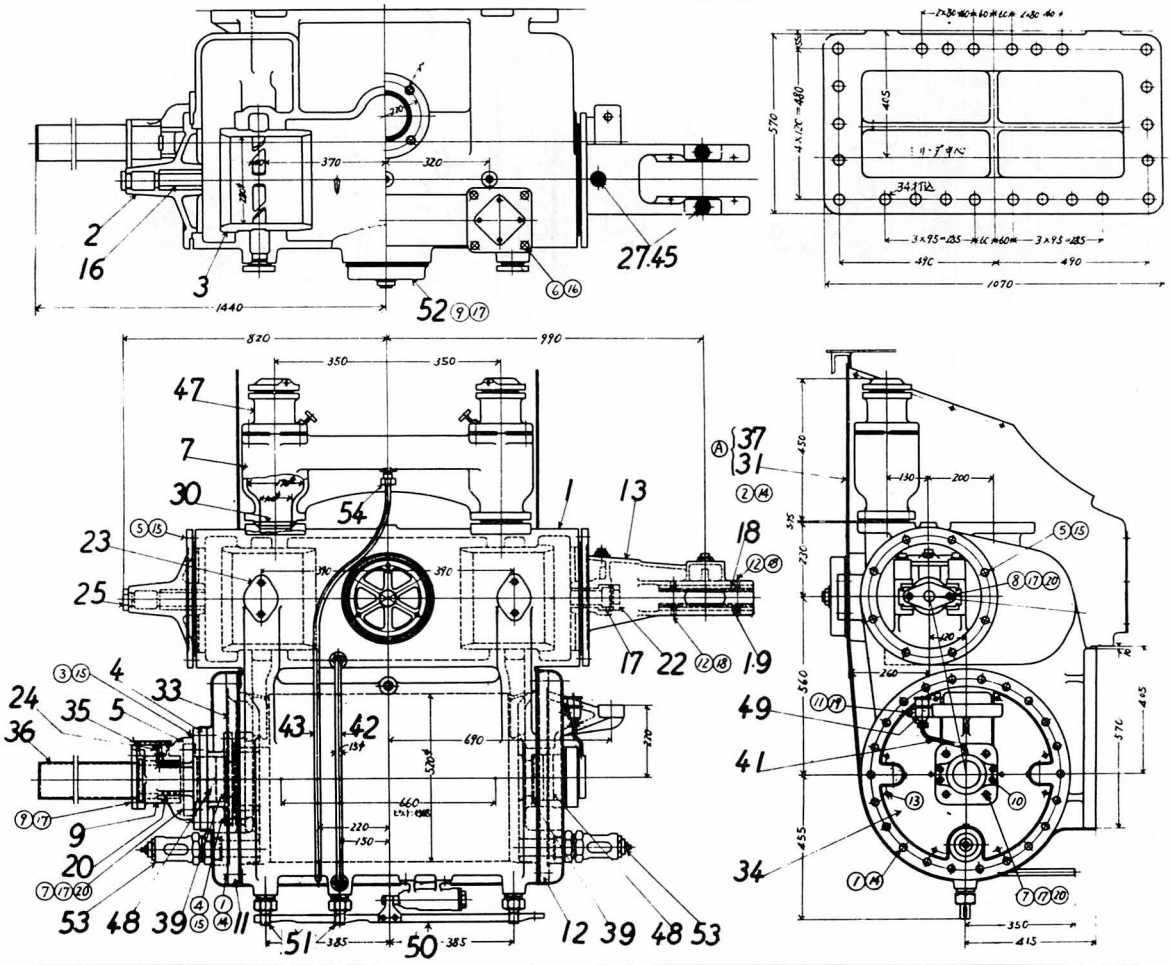
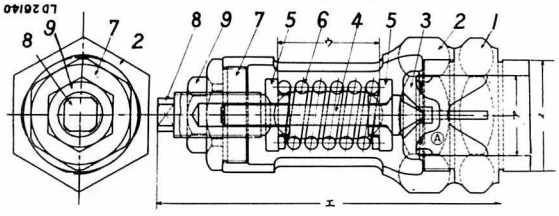
1. シリンダの構造



照号	名称	照号	名称	照号	名称	照号	名称	照号	名称
1	シリンダ体	12	シリンダ後蓋	24	油管	36	尻棒さや	48	ピストン棒パッキン第二種
2	蒸気室前蓋	13	蒸気室後蓋	25	栓	39	銅線リングパッキン	49	丸形油壺
3	〃 ブシュ	16	蒸気室前蓋ブシュ	27	栓穴付油壺蓋	41	ピストン棒油箱油管 10×16 鋼管	50	シリンダドレン弁装置組立
4	シリンダ前蓋パッキン箱	17	〃 後蓋 〃	30	100片面球継手	42	蒸気室ドレン管 15×23 〃	51	〃 排水弁
5	〃 〃 〃 抑	18	弁心棒クロスヘッド滑り	31	シリンダ被組立	43	脇路弁ドレン管 20×23 〃	52	空気弁組立
6	〃 後蓋 〃 〃	19	〃	32	ピストン棒油箱	45	13mm キルク栓	53	50mm シリンダ安全弁組立
7	100×700 脇路体	20	90mm 尻棒支えブシュ	33	シリンダ前蓋詰物抑	47	100mm 空気脇路弁組立	54	銅鋼管ユニオン植込一字継手
9	90m 尻棒支え体	22	抑蓋	34	〃 後蓋 〃			55	〃 〃
11	シリンダ前蓋	23	のぞき穴蓋	35	尻棒支え油壺蓋				

2. シリンダ安全弁



照号	名称	照号	名称	照号	名称
1	弁座	4	弁押棒	7	帽
2	弁体	5	ばね座金	8	ばね加減ねじ
3	弁	6	ばね	9	止ナット

びシリンダ内に発生する真空によって，自動的に開閉する機構のものもあり，これを**自動バイパス弁**という。またピストン弁を特殊な設計として，これに自動バイパス弁と同様な働きを兼ねさせたものもあり，これを**バイパスピストン弁**という。空気弁は前記のバイパス弁またはバイパスコックと同様の意味で取り付けられるもので，シリンダ内に真空を生じた場合は自動的に弁が開いて外気をシリンダ内に吸込み，真空による抵抗を無くするものであるが，外気を吸入するためシリンダを冷やすことになる。この弁にも種々の形があるが，現在の国鉄基本形のものは蒸気室の中央部外側に設けられており，バイパス装置のある機関車でも，バイパスの大きさをあらゆる場合に適当とするわけにはいかないので，空気弁を補助的に作用するように全